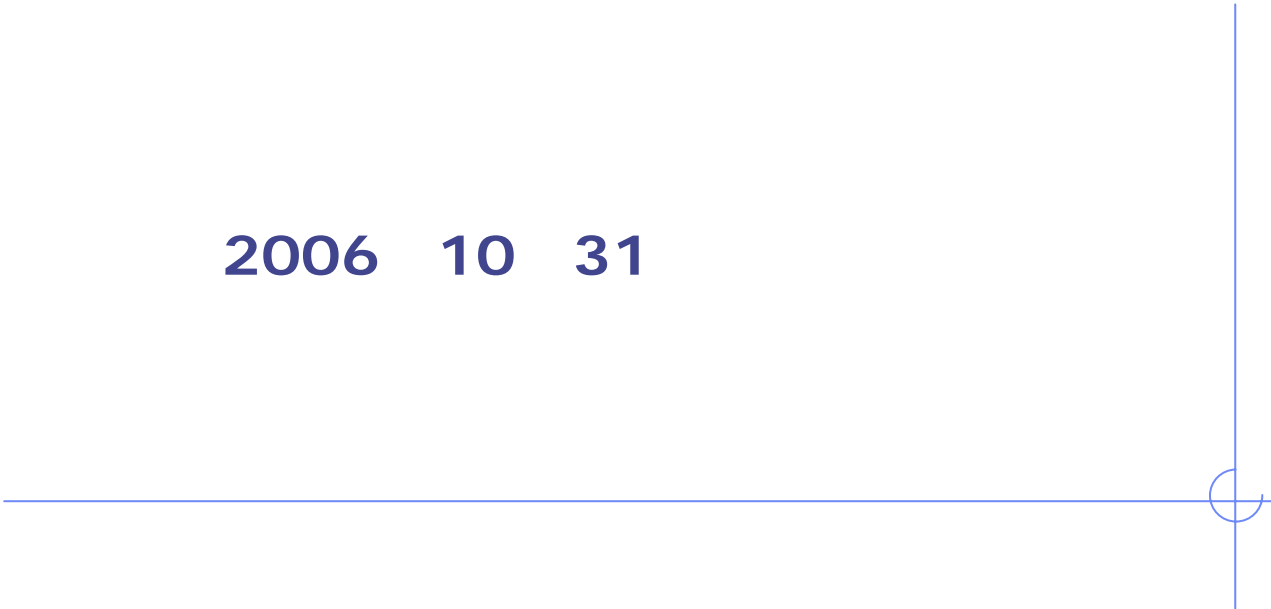




ケーブルテレビ局の自主放送番組データ放送

2006年10月31日
敦賀市 企画部
株式会社嶺南ケーブルネットワーク



会社概要



- ◆ 商号 株式会社嶺南ケーブルネットワーク(略称:RCN)
- ◆ 設立 昭和61年1月20日
- ◆ 所在地 福井県敦賀市木崎40号8 - 1
- ◆ 資本金 4億6千万円

平成元年	有線テレビジョン放送事業を開始(市全域対象に450MHz)
平成12年	第1種電気通信事業許可 BSデジタル放送再送信開始
平成12年	インターネット接続サービス開始
平成13~14年度	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業(770MHz・HFC)
平成14年	敦賀市全域インターネット接続サービス開始 美方ケーブルネットワーク(株)と相互接続
平成15年	全チャンネルフルデジタル化放送開始
平成16年	IP電話サービス開始
平成17年	FTTHサービス開始

サービス加入者数

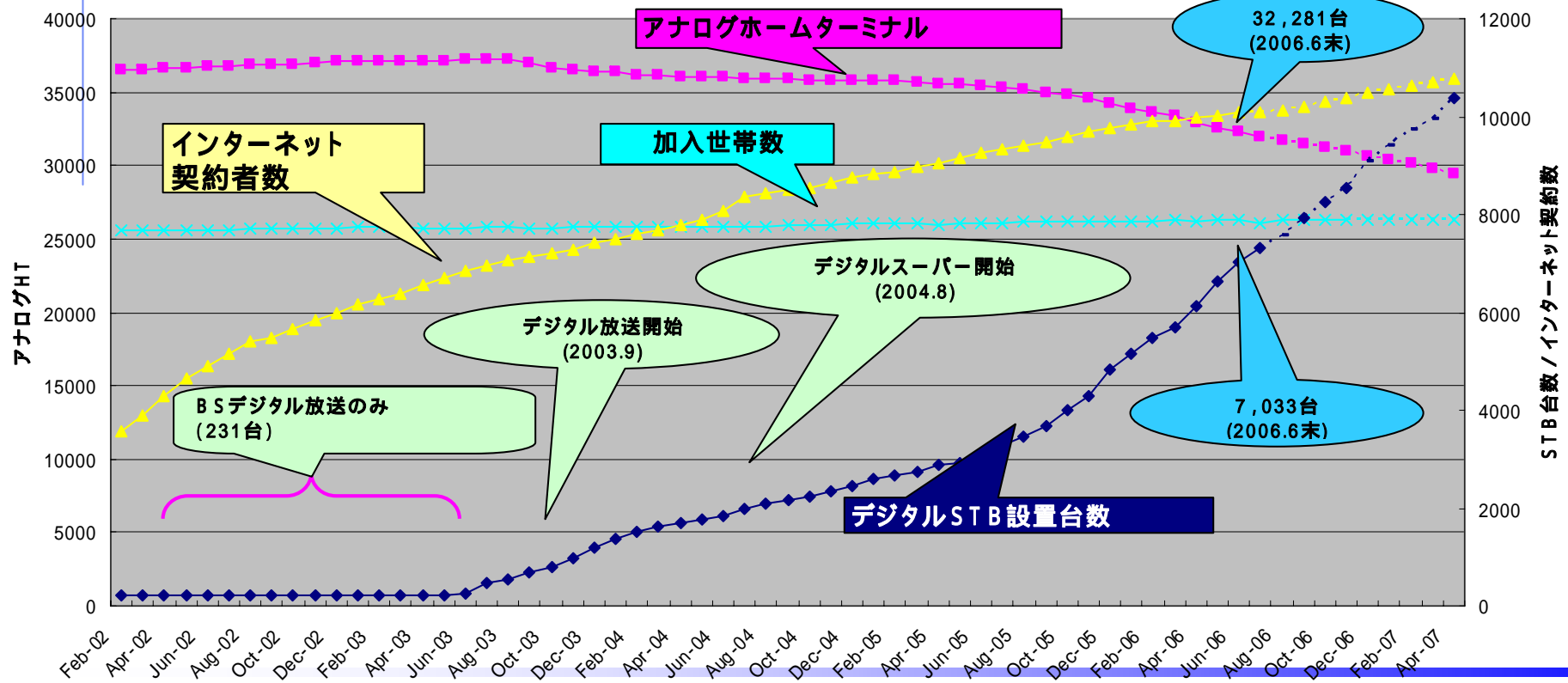


ケーブルテレビ放送サービス

敦賀市内の全世帯の97.7%に相当する26,280世帯が加入
 デジタル放送普及率は、平成18年度中に15,000世帯を目標
 (約40%普及、世帯普及率60%) 平成18年9月末現在

インターネット・サービス

10,030加入 敦賀市内でのブロードバンドインターネットのシェアは80%超え



データ放送開始までの経緯



【計画開始】

2004(平成16年).4月～

コミュニティーチャンネルデジタル放送のメリットを生かした、地域密着型の情報を提供する手段としてデータ放送システムを計画。

2004(平成16年).12月

平成17年度ITコミュニティープログラム交付金の実施計画等に関する調査票(個別調書)提出

2005(平成17年).1月

自主データ放送による地域情報化について総合通信局地域情報振興室へデータ放送事業の計画について説明(H17.1.4)

データ放送コンテンツ立案及びメーカー提案ヒアリングのため社内WG設置

2005(平成17年).2月

敦賀市と事業計画1本化し、データ放送による地域情報化総合計画を策定(敦賀市)

地域情報化総合支援事業実施希望調書提出(市 県 国)

データ放送開始までの経緯



【補助金交付申請】

2005(平成17年).5月

地域情報化総合支援事業補助金交付申請(市)

2005(平成17年).6月

地域情報化総合支援事業補助金交付決定

【具体的仕様策定】

2005(平成17年).7月

地デジ自主放送及びデータ放送システム仕様検討

2005(平成17年).8月

各メーカーに提案及び見積依頼(金額+提案内容によりコンペ実施)

【構築】

2005(平成17年).9月

業者決定

データ放送開始までの経緯



【構築】(続き)

2005(平成17年).12月

地デジ自主放送システム導入に伴う施設変更申請書(ドラフト)提出
早期許可について要望書提出(社長 総務大臣)

2006(平成18年).3月

システム構築完成(事業実績報告提出)

【運用調整】

2006(平成18年).4月21日

地デジ自主放送でのCATV自主放送運用ガイドライン(2.1版)策定
(連盟)

2006(平成18年).5月

・運用ガイドラインに基づくリモコンIDに関して、「11」を使用することで
県内事業者(連盟非会員含む)の意見調整。

2006(平成18年).6月

・施設変更申請書提出(5日)

運用ガイドラインに則り、福井地デジ推進協議会宛に支部長名でリモコンID使用承認願提出。

・施設変更許可取得(20日)

地デジ自主放送(データ放送)について



【運用開始】2006(平成18年).7月
7月10日 試験放送開始 20日 本放送開始

伝送チャンネル:U49(64QAM)

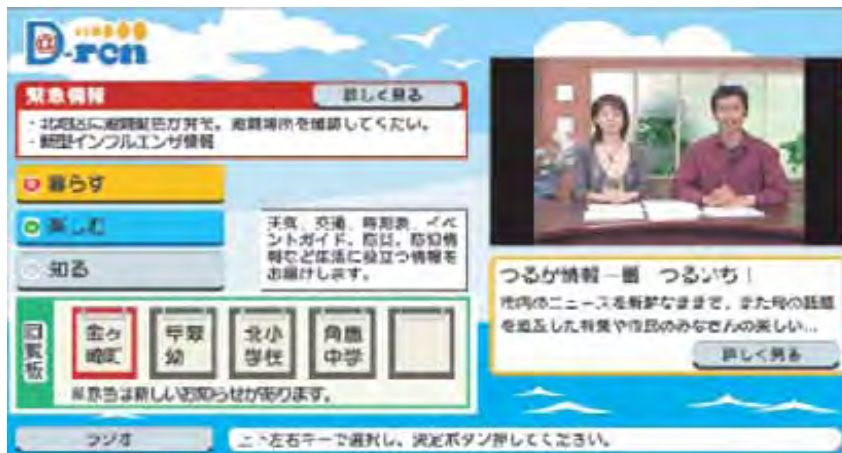
リモコンID:9

チャンネル構成:

091 つるがチャンネル(SD+データ)

092 行政チャンネル(SD+データ)

他、データ(ラジオ)サービス5チャンネル



地デジ自主放送の概要



各種パラメータ
事業者コード: 15
地域コード: 36 (福井)
Network ID: 7 DBF
リモコンID: 9 (091ch、092ch)

伝送方式

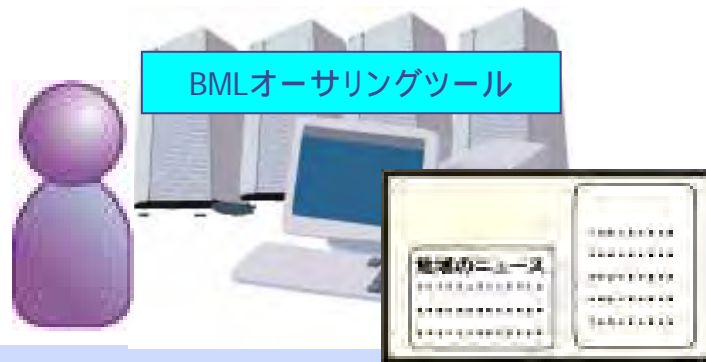
OFDM変調 トランスモジュレーション(64QAM)

運用帯域

全体ビットレート 約20Mbps

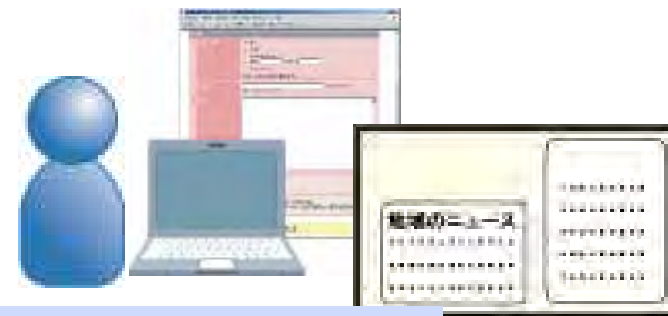


従来のデータ放送運用



BML制作 専任技術者が制作

RCNのデータ放送運用



必要スキル: ワープロ程度

放映

CMS (コンテンツ・マネジメント・システム) で特別なスキルがなくても、簡単に運用。

BMLテンプレート



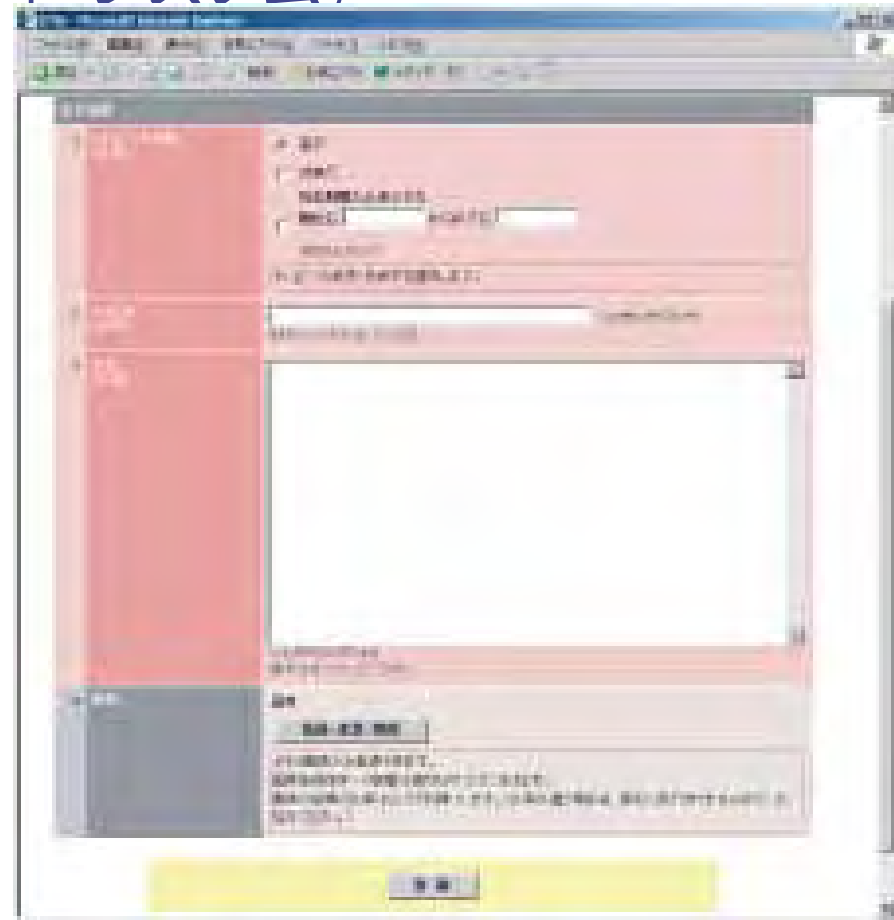
- ・平常時(通常時)テンプレート
 - ・緊急時テンプレート
 - ・生中継向けテンプレート
 - ・各コンテンツ向けテンプレート
- 等

あらかじめデザイン・レイアウトが施されたテンプレートを利用。



CMS (コンテンツ・マネジメント・システム)

- ・Webベースの入力I/F
インターネット環境があれば、どこからでも利用可能。
- ・ワープロが打てる程度なら誰でも使える手軽さ
- ・放映期間設定可能



CMS + BMLテンプレート = 簡単更新！



運営者はコンテンツ(テキスト・画像)編集だけに徹する
(デザインセンスやBML言語習得は不要)

コンテンツホルダーとの協力関係



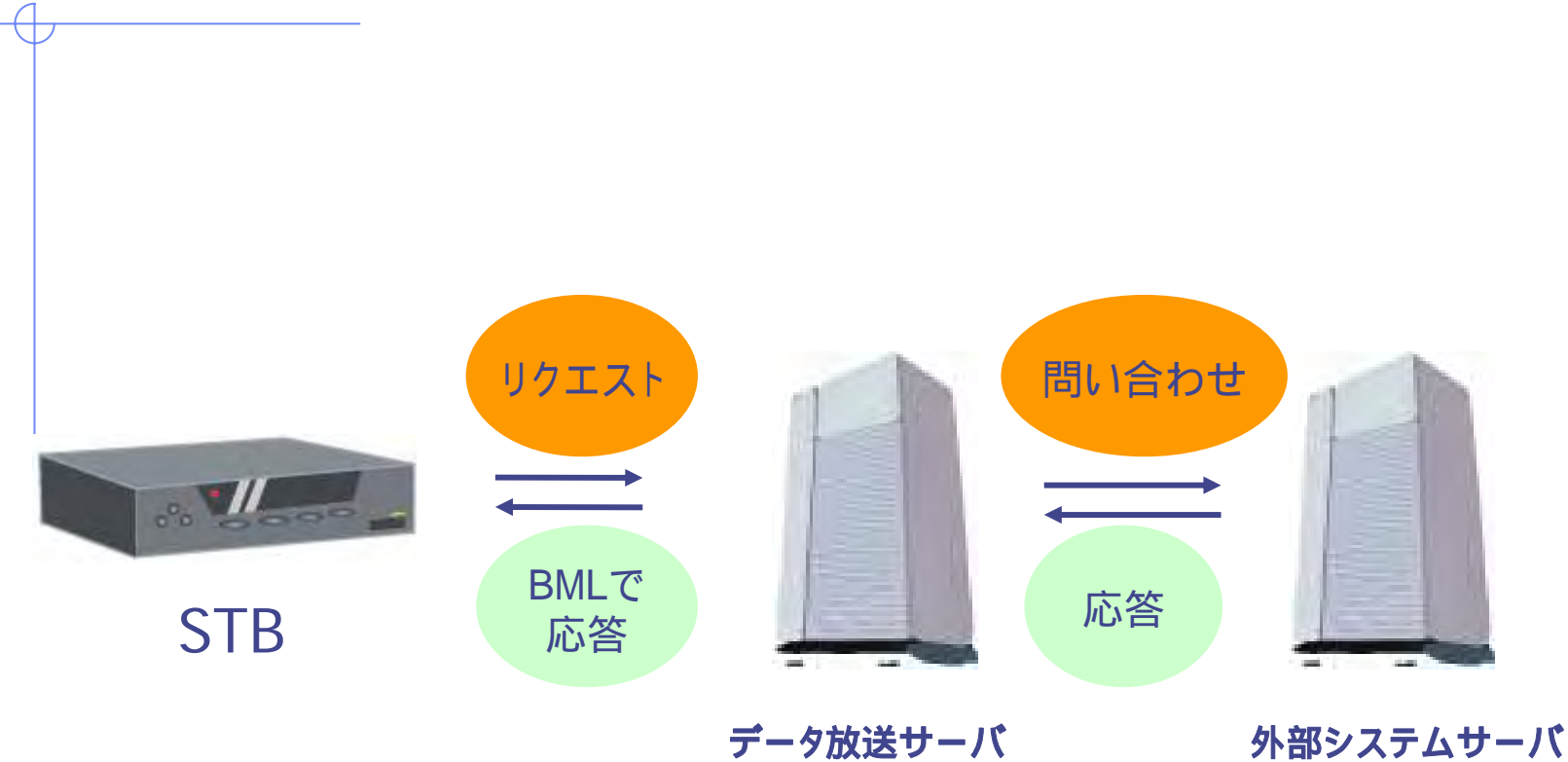
情報提供者
(コンテンツホルダー)

利用IDの付与

CATV事業者
(コンテンツアグリゲーター)

**コンテンツホルダーが、番組づくりの主演に！
(CATV事業者は、コンテンツアグリゲーターに徹する)**

外部システムとの連携



通信コンテンツを積極的に活用

STBの双方向性を活用して大容量のコンテンツは通信側に配置しSTBのレスポンス向上を図る。
通信と放送を融合してコンテンツを提供。



コンテンツ一覧



コーナー	サブコーナー
★番組連動データ	
★ラジオ	

喜 ら す	★イベントひろば	
	★緊急情報	
	★防災情報	防災お役立ち情報 避難場所 トンボメール
	★防犯情報	
	★街のお天気	ピンポイント～台風 注意報・警報 気温、湿度、降水量、風 向き、気圧、紫外線、太陽 放射強度
	★交通情報	道路工事・通行止め情報
	★休日当番医	
	★JR・バス時刻表	

知 る	★お悔やみ	
	★ゴミカレンダー	
	★町内回覧板	
	★学校(中学・小学校) 保育園・幼稚園	
	★市内回覧板	
	★D-メール	

非番組連動データ

楽 し む	★CMスクランブル	
	★RCNからのお知らせ	お知らせ アンケート
	★わくわくプレゼント	
	★街角探検隊	
	★TOP10!	
	★今月のおすすめ番組	
	★デリバリー	
	★フリーマーケット	
	★TVコミュニティ	
	★タウンビュー	ライブカメラ映像
★D-ゲーム		

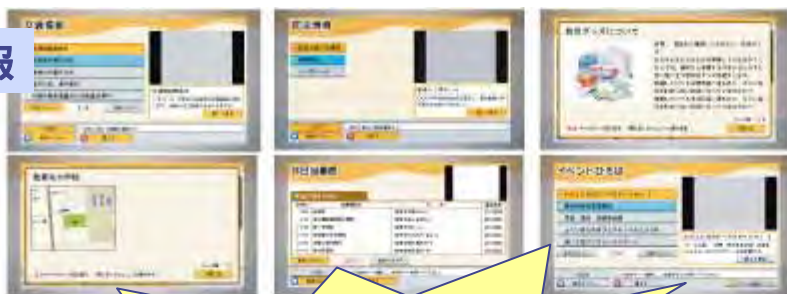
市 役 所	★市役所からのお知らせ	
	★まちかどスケッチ	
	★市役所・施設案内	
	★施設予約	
	★図書館情報	蔵書検索 新着図書 お知らせ

コンテンツ一覧



暮らしに役立つ情報

- ・お知らせ
- ・イベント
- ・天気
- ・時刻表
- ・お悔やみ
- ・防災情報
- ・防犯情報

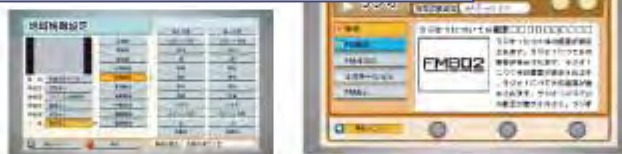


超ローカルコンテンツ

地域に密着した情報を中心に
約40コンテンツが利用できます。

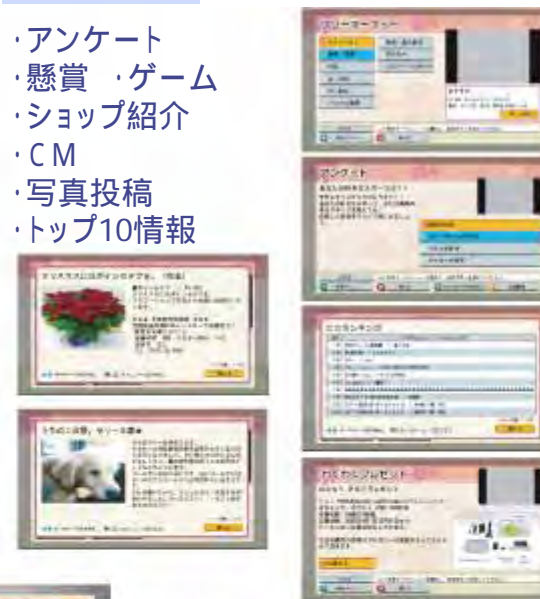
地域情報

- ・町内回覧板
- ・学校からのお知らせ
- ・ゴミカレンダー
- ・休日当番医
- ・地域設定機能



エンタメ系

- ・アンケート
- ・懸賞・ゲーム
- ・ショップ紹介
- ・CM
- ・写真投稿
- ・トップ10情報



公共サービス

- ・公共施設連絡先
- ・施設予約照会
- ・図書館案内
- ・お知らせ



コンテンツ収集パターン



CMS・CSV登録



CMS・・・緊急情報、お知らせ、回覧板、他
CSV登録・・・休日当番、時刻表、ゴミカレンダー 他

XML解析(1方向)



ウェザーニューズ社(気象情報、注意報・警報)
地域ポータルサイト「menet」(イベント・お店情報
フリマ 他)

XML連携(双方向)



図書館システム(蔵書検索・新着図書)
施設予約システム(施設予約照会)
インターネット百様箱システム(気温・湿度・・・)

メール自動解析

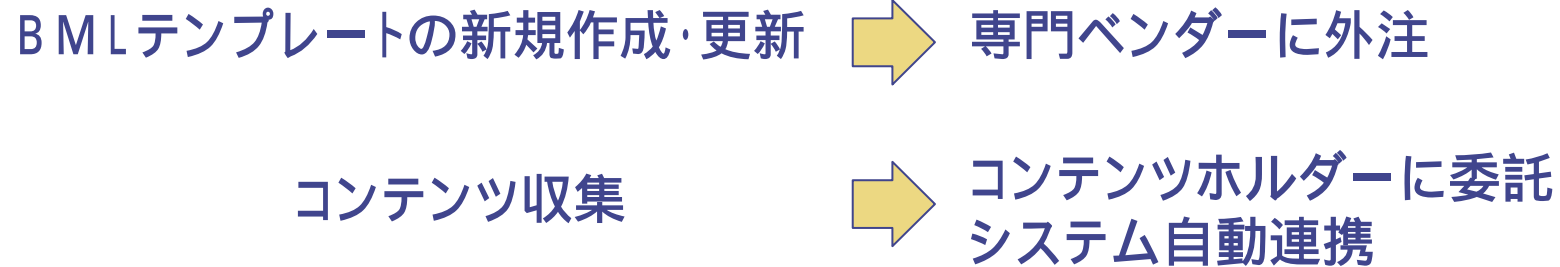


福井県警「リューピーネット」(犯罪情報)
敦賀市 災害緊急告知システム「TONBOメール」
(火災情報 他)

既存コンテンツの活用手法



既存情報の形式	情報取得方法	情報元サイドの環境など諸条件	メリット	デメリット
CMS入力 (手動)	CMSによる入力	-	運用者側で情報内容を振り分けできる 入力項目を自由に策定できる。(初期導入時) 画像も可能。	人足がかかる
メール	メール(メールマガジン等)をサーバが受信する。	・メール内容文の構成がシステム等による固定的。 ・システムサイドに受信メールアドレス	メール(メールマガジン)が届いたタイミングでほぼリアルタイム更新	メール内容文の構成に改変があった場合、解析に不備がでる可能性がある。
Web解析	既存のサイトのコンテンツを、システムが自動取得する。	・URLが固定である。 ・HTMLコードが固定または、認識するコメントなどが入っている。 ・Flashやjavascriptは不可	既存サイドは、サイトやシステムを改変する必要がない	既存サイト側の改変が合った場合、解析に不備がでる可能性がある。(運用面での連携も必要となる) 更新頻度に関わらず、定期的なプログラム稼働が必要。 既存サイドに、わざわざ制作してもらう必要がある
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">XML</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="background-color: #FFC0CB; padding: 5px; text-align: center;">クローズド情報に最適</div>	データ放送用のXMLを策定し、それをシステムが自動取得する。		連携が安定的である。 ベーシック認証をかけ、クローズドにすることができる。	
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">RSS</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="background-color: #FFC0CB; padding: 5px; text-align: center;">オープン情報に最適</div>	既存Webで行っているRSSから取得する。	・情報がオープンである必要がある	フォーマットが一定(オープン)であるので、解析しやすい。	RSSアドレスはオープンであるため、他媒体に利用される可能性がある。 画像コンテンツは不可。

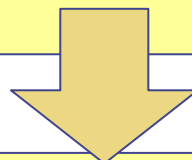


最新技術情報は追いかけるが「作業」はせず、
情報を提供するのではなく、提供していただく「しかけづくり」をする。

・地域コミュニティの活性化
・能動的な活動する人々の醸成

◎ これまでは…

番組制作/地上CS・BS番組再送信/Netインフラ提供

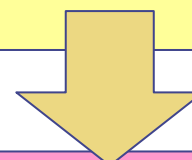


現在は…

「使える」「進化する」情報プラットフォームの提供

データ放送

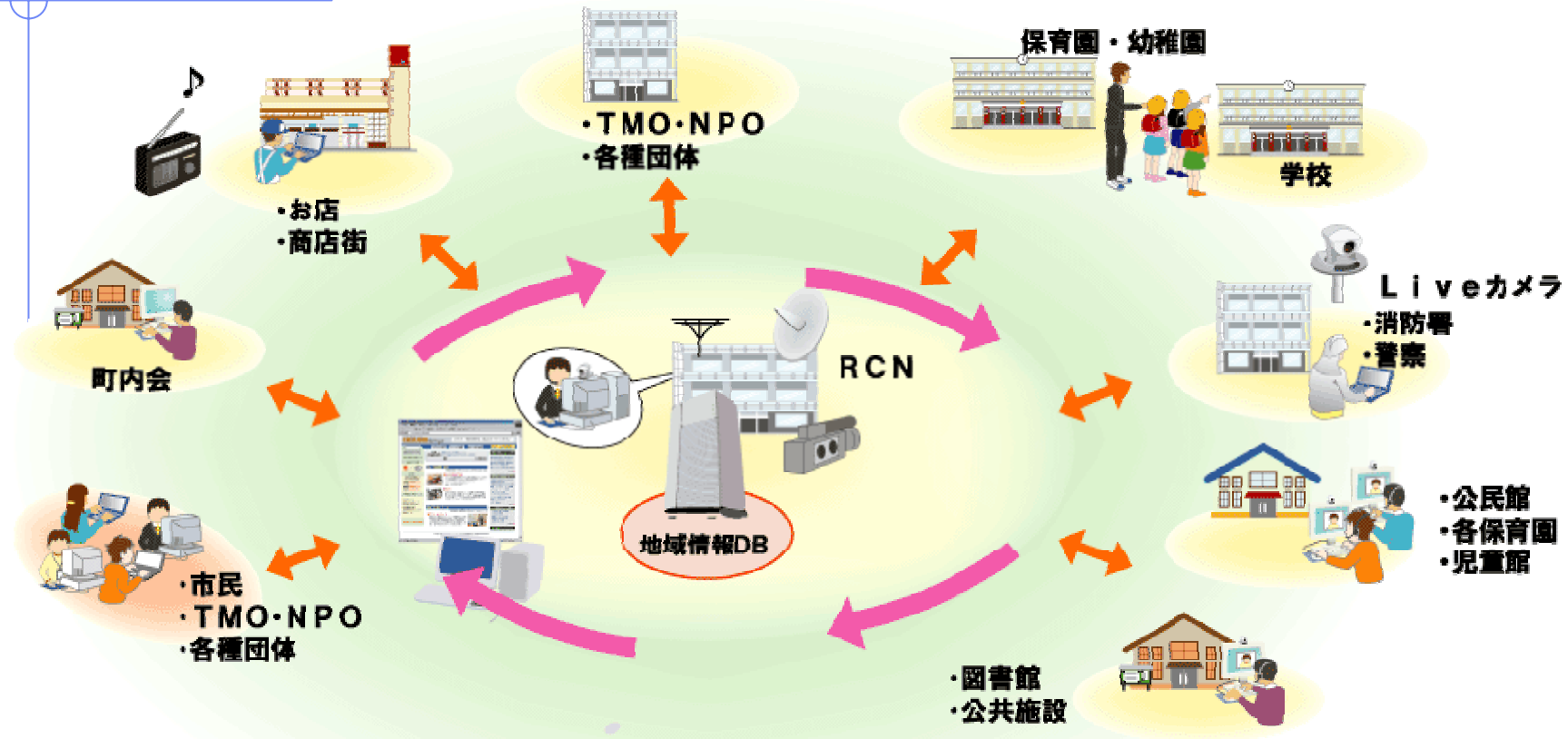
WiMAX



「情報やサービスの編成」
地域住民からの能動的な利用・
積極的なシステム希望が出るしかけづくり



コンテンツの運用全体イメージ



地域の人々が、情報提供者。

A decorative graphic consisting of a thin blue horizontal line and a thin blue vertical line that meet at a small circle on the left side, forming an L-shape. This graphic is located on the left side of the slide, above the contact information.

お問い合わせ先
電話:0770-24-2211
メール:ohgishi@rcn.ne.jp